

# 安全かつ迅速に行動

大豊建設

大豊建設は19日、茨城県阿見町の中央機材センターで防災訓練を行った。「工場棟内で火気を使用した機械の整備中に油分を含んだウエスに引火」という状況を想定し、阿見消防署の指導・協力を受けて、避難や消火、通報、救護などを訓練した。写真。



同社の松本博之中央機材センター長は「屋外消火栓・消火器の使用方法や避難する際の注意点など、十分に意識しながら繰り返し訓練することで、日頃から慌てず安全かつ迅速に行動できるように心掛けたい。今回は、（現場の状況を映像で共有する）Live119やAED（自動体外式除細動器）を実際に使用した訓練や、骨折などの応急処置を訓練することで、中央機材センター内だけでなく、近隣や家庭に対しても災害時に役立てられる内容となった」とコメントした。

